

ポポーのジェラートに資金を

中国新聞

The Chugoku Shimbun ONLINE

ツイート 7

いいね! 59

@ChugokuShimbunさんをフォロー

島根県美郷町比之宮地区の住民グループが、インターネットで不特定の支援者から資金を集める「クラウドファンディング」を使い、ジェラートの開発に乗り出す。地元農家が育てている北米原産で形がアケビに似た果実ポポーで、新たな名物作りに挑戦する。



今シーズンは同地区や町内の農家計10軒からポポー100キロを集め、2千カップ(1カップ350円)のジェラート作りを計画。18日から加工代25万円を募る。来春から町内外で発売する予定。出資者にはジェラートなどを送る。

比之宮地区で地域おこしを担う町嘱託職員小川珠奈さん(25)たちが2012年9月、地元の魅力を探そうとポポーを試食。ジェラート作りを思い立った。同地区のポポーだけでは材料が足りず、地区内に植樹も始めた。

当初は県の補助金を受ける考えだったが、取り組みを広くPRでき、新たな資金繰り策を広める機会になるとして、ネットを活用することにした。

ことし7月、住民7人で実行委員会を設け発売に向けた準備を進めてきた。小川さんは「地元の自信と生きがいにつなげ、町外の人に比之宮を広く知ってもらおうきっかけにしたい」と意気込んでいる。

【写真説明】ポポーの実のなり具合を確認する比之宮地区の住民